

研究紹介

【種 目】 基盤研究(C) (一般)

【採択機関】 東北文化学園大学

【研究期間】 2015年4月1日～2018年3月31日(予定)

伝統的技能職者の技術継承における現代的課題



教授 佐藤 直由

医療福祉学部保健福祉学科
大学院健康社会システム研究科

東北大学、山形大学を経て、平成12年4月から東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科教授。

現在、東北文化学園大学 副学長(教育・学生担当)。

伝統的技能職の多くは世襲や徒弟制などによって選抜や教育が行われ、学校教育などの発展とは無関係にその養成システムを構築してきました。そしてその根幹となる人材確保や配置、技術向上を担うとともに、労働条件の改善に向けた取り組みを続けてきたのが伝統的技能職者の同業者団体(組合)です。

私たちの研究は、そうした伝統的技能職の養成システムの変化を事例研究によって探ろうとしています。事例研究は、杜氏職を中心に行っています。

杜氏職においては、季節雇用から通年雇用(四季醸造と社員化)への切り替えが進み、技術継承や人材の再生産のシステムに大きな変化が生じています。杜氏組合にとっては、その目的のひとつとしてきた労働条件の改善は進むのですが、杜氏の伝統的養成システムを担ってきた組合自体の存在意義が薄れるという自己矛盾に直面しています。研究では、そのプロセスと現状の課題を明らかにしていきます。